

クラフト工房 La Mano (ラ・まの)

藍と草木の型染め鯉のぼり



鯉のぼり

鯉のぼりは、江戸の頃に武家の習わしとして男児の健康を願って端午の節句に飾られる風習として始まったと言われています。鯉のぼりの起源は、中国の故事（鯉の滝登り／登竜門）に由来します。故事には黄河上流の黄門に滝があり多くの魚が滝を登ろうと試みましたが唯一鯉だけが登ることが出来、神通力を備え龍になったとあります。また、鯉のぼりには男子が生まれた時「どうか我が子を見守って下さい」と天の神様に知らせる目印のため、鯉のぼり（単に幟）を立てたという説もあります。

LaMano 藍と草木の型染め鯉のぼり

LaManoの鯉のぼりは、綿地に型染の技法を用い藍や草木といった植物で染めております。藍染は藍甕で4～10回ほど染め重ねることで水色・藍色・紺色に染まります。また緋鯉の草木染は、糊置や染色など工程が多く、鯉のぼりの中でも最も手間がかかります。先端の矢車は、矢車模様の染め飾りです。

飾り方

細めの竹竿（又は棒）をご用意いただき、上から順番に、矢車・吹流し・真鯉・緋鯉・子鯉の口紐を結び付けてください。LaManoの鯉のぼりは、天然染料を使用しているため、長期間、直射日光が当たりますと色褪せるのが早くなります。特に赤系の色は褪せやすく、日陰や室内でのご使用をお勧め致します。

吹き流しの色

LaManoの吹き流しの五色は、古代中国の五行思想に由来する色を使用しています。五行思想では、自然への感謝の気持ちそれぞれ五つの色で表しています。



青（木）	藍（すくも藍）
赤系（火）	茜（インド茜）
黄系（土）	玉葱、刈安（近江産）
白系（金）	松煙（松のすす）
黒系（水）	玉葱 × 藍の重ね染め

品名	サイズ
矢車かざり（藍）	約 14cm × 14cm
吹き流し	約長 100cm × 巾 14cm
真鯉（藍）	約長 90cm × 巾 15cm
緋鯉（茜）	約長 82cm × 巾 14cm
子鯉（藍 / 水色）	約長 67cm × 巾 11cm



クラフト工房 La Mano

〒195-0072 東京都町田市金井 5-14-18 mail : koubou@la-mano.jp

☎ 042-736-1455 FAX042-860-5515 HP : <http://www.la-mano.jp/>



藍と草木の型染め鯉のぼり お手入れ方法



浸け置き

一つずつ洗面器を分けて
2時間程、水入れして下さい。



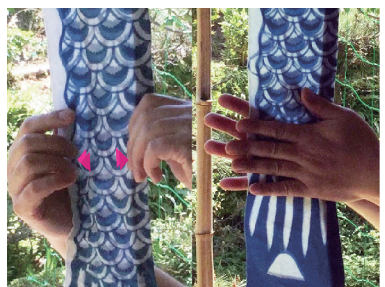
灰汁抜き

天然のすくも藍で染めているので、
水に灰汁が出て黄色になる場合があります。
その場合、きれいな水に入れ替えて浸け置き
した後、流水ですすいでください。



絞る

口の形を崩さないように気をつけながら、
布を絞ります。



形を整える

鯉のぼりを吊るした状態で、縫い目に合わせて
形を整えます。

- 布を左右に引っ張ってシワを伸ばします。
- 掌でパンパン挟みながらシワを伸ばします。



干す

風通しの良い日陰で、乾くまで干します。
※直射日光に当たると、変色しやすいので
乾いたら速やかに取り込んでください。



アイロン

布のみ、高温でアイロン出来ます。
※口にアイロンを当てると変形します。
収納の際は口の変形を防ぐ為、上に物を乗せず、
光の当たらない場所で保管してください。